



キク編

inochio
GROUP

病害虫注意報
2017年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

ダニ・アザミウマ・チョウ目類・アブラムシ・白さび病の発生に注意しましょう！

引き続き様々な種類の病害虫が発生します。今年はダニの発生が多い年でしたが、気温が下がり、アザミウマも増加します。特定の病害虫に偏らない防除を行いましょう。

薬剤散布は「出てから」ではなく、「出る前」に行いましょう！！

今月のおすすめローテーション

生育初期

アザミウマ類 アブラムシ類 フラバライウム類 ハダニ類	トクチオン乳剤	1,000倍 発生初期/5回
白さび病	inochio オペラフラワー乳剤	2,000倍 発病初期/3回

※地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますので、ご注意ください。さらに、展着剤、葉面散布剤などを加用する場合も、ご注意ください。

破蕾期

アザミウマ類、ハモグリバエ類、オオタバコガ、コナジラミ類	ディアナSC	2,500~5,000倍 発生初期/2回 (コナジラミは2,500倍)
ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍 開花前まで/1回
白さび病 うどんこ病 アブラムシ類	ピリカット乳剤	1,000~2,000倍/発生・発病初期/6回 (白さび病・アブラムシ類は1,000倍、うどんこ病は2,000倍)

消灯時

アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 カメムシ類	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍 発生初期/4回
ハダニ類	テデオン乳剤	500~1,000倍 -/1回
さび病、炭疽病 灰色かび病 べと病	エムダイファー水和剤	400~650倍 発病初期/8回

発蕾期

アザミウマ類、オオタバコガ	プリンスフロアブル	2,000倍 発生初期/5回
ハモグリバエ類、ハダニ類	コロマイト乳剤	1,500倍 -/2回
白さび病、うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍 発病初期/7回

土壌分析のお薦め

土壌の化学性を分析し、その結果に基づき施肥設計を行いましょう！

土質・作物の状態によって、作後の土壌に残る養分は異なります。毎作同じ施肥を繰り返していると、特定の養分が不足したり蓄積したりし、土壌の養分バランスが崩れてしまいます。

詳しくは営業担当もしくはホームページまで、お問い合わせ下さい。

ホームページ

<http://bunseki.inochio.co.jp>

生産現場に
対応した
スピード！

有資格者と
現場経験者
による
分析・検査

分かりやすい
報告書！